

## 阿武山宿泊ゼミ第4回

- ・日時 7月28日(土)
- ・場所 防災研究所 阿武山観測所 大阪府高槻市奈佐原944
- ・テーマ 南海トラフの巨大地震のサイクルモデルについて
- ・参加資格 大学教養程度の数学・物理の素養のある人が望ましい。
  - ・世話人 阿武山観測所関係 教員・院生有志 (責任者 飯尾能久)
- ・参加費 食材の実費を徴収予定

### ○ 趣旨説明

阿武山合宿ゼミ第4回を下記のように開催します。今回のテーマは「南海トラフの巨大地震のサイクルモデルについて」です。対象は、大学教養程度の物理・数学の素養をもっている人です。つまり、地震学など専門分野の知識の無い学部生の参加も歓迎します。もちろん学生以外もOKです。

構成としては、専門分野の知識の無い人でも、議論することが出来るように、最初の3つのゼミで最低限必要な知識について勉強します。この部分は、院生有志にレポーターを御願ひします(各パートの内容については後述します)。この場は、基本的には、教員は参加しません。次のゼミは、それを受けて、教員も含めて、つっこんだ議論を行います。

参加して下さる方に御願ひしたいことは、基本に立ち戻って、それぞれ自分の頭で一から考えることです。その際、事実と違って良い部分とその先の推論部分を分けて考えることが重要だと思います。

### ○ プログラム案 (内容は院生有志が最終決定しますので、変更の可能性があります)

7月28日(土)

- 10:00~10:30 趣旨説明
- 10:30~12:00 セミナー1 摩擦構成則の基礎
- 12:00~13:00 昼食 休憩
- 13:00~14:30 セミナー2 サイクルモデル1(2次元モデル)
- 14:45~16:15 セミナー3 サイクルモデル2(3次元モデル)
- 16:30~18:00 セミナー4 教員も合流
- 18:30~ 懇親会

そのまま宿泊しますが、帰ることも可です。最寄りのバス停まで歩けば22時過ぎまで便があります。

セミナー1 摩擦構成則の基礎: 断層の摩擦に関する法則の基礎を勉強します。特に、セミナー2, 3で紹介されるサイクルモデルの計算に用いられる、速度状態依存摩擦則について勉強します。

セミナー2 サイクルモデル1(2次元モデル) 東海地震をモデル化しようとした Kato and Hirasawa (1999)を材料に単純な2次元モデルについて勉強します。

セミナー3 サイクルモデル2(3次元モデル) 南海トラフの巨大地震サイクルモデルについて勉強します。

○ アクセス、宿泊など

阿武山観測所HP参照 JR 摂津富田駅からバスと徒歩で40分程度。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/~abuyama/>

電話：072-6-94-8848, 8849

風呂・シャワー、畳の部屋(大小合わせて8部屋あり)、ふとん等あり(数に限りあり)。  
ただし、タオル、パジャマなどは、用意していませんので、各個人でご用意ください。  
昼食は各自準備して下さい。

夕食を準備します。飲み物等も準備します。食材の実費を徴収予定(千円程度?)です。

※注意：畳の部屋にはクーラーはありません。山の中なので虫が出るかも知れません。

各個人で対策をよろしくお願い致します。

また貴重品は必ず身につけて、各個人で管理をお願いいたします。

○ 申し込みシート

<必須項目>

- ・氏名
- ・所属、身分
- ・メールアドレス
- ・電話番号(できれば携帯電話番号)
- ・宿泊 (する・しない)

<その他>

- ・その他 希望等ありましたら、ご記入下さい。

○ 申込・問い合わせ先と締め切り

地震予知研究センター 千葉・青木・岸本・飯尾

[abuyama\\_dpri@dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:abuyama_dpri@dpri.kyoto-u.ac.jp)

準備が必要です。7月20日までに申し込み下さい。

ふとんの数に限りがありますので、宿泊者数は、予定人数に達したら締め切りさせていただきます。